


提出 順番	No. 4	令和 5 年 6 月 5 日 午前 午後 10 時 7 分受領
----------	----------	------------------------------------

令和 5 年 6 月 5 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
<p>子どもたちに豊かな学びを保障する少人数学級の推進と教育環境の整備を</p>	<p>2021 年、一人ひとりに手厚い教育をという世論と運動が、40 年ぶりに小学校の学級規模縮小 (35 人学級) を実現させました。北海道を含め各都道府県や市町村が、国の段階的实施に先行して取り組む、また、さらなる少人数化に踏み込む動きも広がっています。</p> <p>小学校 35 人学級は一步前進ではありますが、20 人台が当たり前の欧米諸国と比べればまだまだ大きすぎます。ましてや中学校 2・3 年生はいまだに 40 人学級のままです。増加する不登校の児童生徒への丁寧な対応や、教職員の多忙化解消にとっても少人数学級は喫緊の課題です。</p> <p>本格的な少人数学級は、子ども全員が主体的に参加するなど授業のありかたを変える、学級の雰囲気落ちつき安心が広がる、インクルーシブ教育への可能性が生まれるなど、教育に新しい可能性をもたらします。小学校 1・2 年生を 25 人以下学級にしている山梨県では、自己肯定感や学習意欲の向上、不登校やいじめ対策などの効果が報告されています。</p> <p>小中全学年で早急に 35 人学級にするとともに、将来的に 20 人前後の学級となるよう、少人数学級を段階的に推進することが求められます。少人数学級化を加速させるとともに、教育環境の整備を進めるために、以下の点を伺います。</p> <p>1 少人数学級の推進について (1) 以下について、学級の数と来年度以降の見通しは。</p>

	<p>① 中学校で 35 人を超えている学級。</p> <p>② 中学校で特別支援の在籍を含めると 40 人を超える学級。</p> <p>③ 小学校で 30 人を超えている学級。</p> <p>④ 小学校で特別支援の在籍を含めると 35 人を超える学級。</p> <p>(2) 幕別町で、中学校 35 人学級、小学校 30 人学級を実現するのに、それぞれ必要な予算は。</p> <p>(3) 少人数学級を前進させる重要性について町の認識は。また取り組みは。現場へ出向いての実態調査や教職員・児童生徒・保護者の声を聞く考えは。</p> <p>(4) 国に、少人数学級を前進させるため、OECD 諸国の平均並みに教育支出を増やすよう求める考えは。</p> <p>2. 子どもたちに充実した教育環境の整備について</p> <p>(1) 普通教室で個人ロッカーが設置されていない教室に設置する考えは。また、ロッカー設置のための予算は。</p> <p>(2) 自転車通学の子どもたちにヘルメット購入助成やヘルメットの保管場所の設置についての町の考えは。</p>
--	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。